



## アートプロジェクト「FUKUOKA×YAME REMIX」第一弾 アートバスツアー「里山を編む～天神・奥八女バスの旅～」を開催！

九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ（SAL）は、2016年10月15日（土）・16日（日）の2日間、アートバスツアー「里山を編む～天神・奥八女バスの旅～」を開催することとなり、参加者を募集しています。

SALは、社会の課題にコミットし新しいつながりを生み出す芸術実践（＝ソーシャルアート）の研究に携わっています。今年度は文化庁の助成により、アートマネジメント人材育成を実践の場で行うことで、都市間交流を促すアートの役割や非都市型のアートプロジェクトについて研究・実践を行っています。本企画は今年度のSALの大型事業のひとつである、福岡市内と八女市をつなぐアートプロジェクト「FUKUOKA×YAME REMIX」の第一弾として開催されます。

今回のバスツアーは、「アート」という視点から何ができるかを、アーティスト、SAL『『地域づくりとアート』実践プログラム』の受講生、地域の人たちと検討し、ともに作り上げたものです。福岡市中央区天神を出発し、八女市黒木町笠原地区を約7時間かけてバスで巡ります。美しい棚田や澄んだ空気を満喫するだけでなく、里山での自然と人間の共存関係や、そこに暮らす人々に思いを馳せるための仕掛けが施されています。

なお、八女市黒木町笠原地区は2012年九州北部豪雨で大きな被害を受け、本学大学院芸術工学研究院ではこれまでも様々な形で復興を支援してきました。

### 主催者からひとこと：

近年、地域と関わり芸術作品を創作する動きが全国で広がっていますが、その検証は十分に進んでいるとは言えません。SALでは、今回実践するアートバスツアーの取り組みを、実施プロセスから検証することを通じて、社会におけるアートの新しい可能性に言及することを目指しています。ツアーだけで見ることで見られる、3名の気鋭のアーティストによる作品も必見です。



笠原地区の棚田の風景

アートプロジェクト「FUKUOKA×YAME REMIX」及びツアー詳細は特設サイトをご覧ください。なお、このサイトでは、ツアー参加者の募集も行っています。:

<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/fukuokayamemix/>

参加アーティスト：

牛島光太郎（美術作家）、五味伸之（演出家）、

ジェームズ・ジャック（アーティスト）



本ツアーを運営する人々

【お問い合わせ】九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ  
電話：092-553-4552 FAX:092-553-4552  
Mail: [sal@design.kyushu-u.ac.jp](mailto:sal@design.kyushu-u.ac.jp)

## FUKUOKA × YAME REMIX

# 「里山を編む～天神・奥八女バスの旅～」

### ■スケジュール

第1回 2016年10月15日(土)

13:15 天神 日本銀行前集合 ～ 八女市黒木町笠原地区への旅(夕食付き) ～ 20:30 頃 天神着

第2回 2016年10月16日(日)

9:45 天神 日本銀行前集合 ～ 八女市黒木町笠原地区への旅(昼食付き) ～ 17:00 頃 天神着

### ■旅行詳細

○各回・旅行代金: 5,400 円(食事代込み)

○各回・募集人員: 30 名様(事前申込制) ※最少催行人員: 20 名様

### ■お申し込み方法

特設ウェブサイトよりお申し込みください。

<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/fukuokayameremix/>

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

### ■アーティストプロフィール

#### ○牛島光太郎

1978年八女市生まれ。2010年「意図的な偶然」(三菱地所アルティアム)、2012年「意図的な偶然」(LIXIL ギャラリー)、2014年「scene のつくり方」(Gallery PARC)等の個展や、2014年「イマジネーション・スーパーハイウェイ」(京都芸術センター)などのグループ展に参加。ドイツ、台湾、ニューカレドニア、中国などでアーティスト・イン・レジデンス。2016年8月まで、大阪府茨木市でアートプロジェクト(HUB-IBARAKI ART)を実施。

#### ○五味伸之

1985年群馬生まれ。「記憶とのつきあい方」をテーマに演劇活動を行う。プレイバックシアター、まわしよみ新聞を用いた語り合う演劇づくり、演劇とお化け屋敷を組み合わせた「劇コワ」など様々な創作活動を行う。福岡市立青年センターと共に総合芸術イベント「くうきプロジェクト」を毎月企画するほか、小学校・元ホームレスの方への演劇ワークショップファシリテーターとしても活動。日本演出者協会会員。福岡恐いもの研究会代表。無做舎主宰。

#### ○ジェームズ・ジャック

アメリカ出身。瀬戸内国際芸術祭、釜山ビエンナーレ・シーアートフェスティバル、シンガポールの Institute of Contemporary Art 等のグループ展で、社会と深く関わるプロジェクトを多数展開。論文や著作は、『ISSUE』、『ジャパントイズム』、『モダンアートアジア』、『アートアジアパシフィック』等に掲載された。2008～2010年に明仁皇太子奨学金フェロー、2015年にはシンガポールの Centre for Contemporary Art の招待作家。現在は、ソーシャルアートラボのアーティスト特別研究員。

### ■イベント企画・制作

九州大学ソーシャルアートラボ、「『地域づくりとアート』実践プログラム」受講生

### ■クレジット

主催:九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ

共催:公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

後援:福岡県、福岡市、八女市、日本アートマネジメント学会九州部会

旅行企画:西鉄旅行株式会社

協力:NPO 法人山村塾、ラブエフエム国際放送株式会社、旭座人形芝居、お茶の里記念館

助成:平成28年度文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業





